

した。
大会当日、ウォーミングアップとして子供たちと一緒に中継所近くの神社まで走りました。神社に着いてみると去年の保護者が祭の世話人をして神社にいたではありませんか。そして、なんとその方が私に御神酒をすすめてくれたのです。

「先生、がんばってない」
私はとてもうれしく思います

た。一年かかったけれど、この一言でやっと認めてもらえたかなとほっとしました。

子供の願いと親の願い。今までそれに応えようと一生懸命努力してきたつもりです。今後も常に自分の姿を振り返り、甘いところは反省しながら、目の前の子供たちのために努力していこうと思います。

(東和町立針道小学校教諭)

思い出、そして

新妻 英典



中学生のときに生徒の気持ちを大切に、温かく指導してくださった数学の先生の影響が教職を目指す動機となりました。今年で十六年目が過ぎようとしています。

大学卒業後、講師を経て採用された最初の赴任地は郡山でした。毎日学校帰りに家庭訪問をしなればならない生徒や、問題を起こしたけれど親がいないため派出所に迎えにいった生徒など、手をやかせた生徒たちがいました。しかし、放課後になると教室をきれいに掃除してくれたり、仕事を頼ま

なくても手伝ってくれたりする生徒もいて、その姿や整理整頓された教室に心が和まされるときもありました。楽しくもあり、苦しくもあつた二年間でした。

この生徒たちを卒業させ、いわきに転勤する前日、いつも心配していたグループのリーダーだった生徒から初めて電話がありました。「先生、いわきは大変だつて聞いていますけど、先生なら大丈夫だから頑張ってくださいよ」という励ましの言葉でした。その生徒の本当の気持ちを感じられた電話でし

た。どう対応したらよいか分からないながらも、妥協せず生徒と真面目に真剣に取り組んだことは、まちがっていなかったと思えた瞬間であり、私自身の仕事の原点になっている思い出です。

いわきに戻っても多様な生徒との出会いの中で、自分の指導に自信をなくし、何度か教職をやめようかと思つたこともありましたが、そんなときに思い出すのが、講師時代に出会い、いろいろと教えてくださった保健体育の先生の言葉です。

「なぜ教職を目指そうと思つたんだ。自分の一生をかけられる仕事はなんだと思う。その答えが自分の進む道だろう」

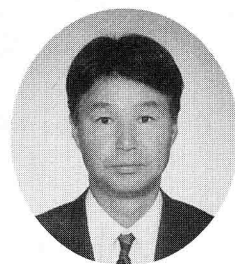
そう言われたときに、どきどきとしたことが昨日のように思い出され、今でも私の目標とする先生の一人となつています。もちろん、それぞれの学校で出会つた同僚の先生方にも大変恵まれ、助けていただいたことが現在の自分を作る基礎になつていると思います。

現在、教務の立場にあり、いろいろな場面で行ういろいろな課題を正面から見る事ができます。そのたびに自己を省みることが忘れず、目標とするあの保健体育の先生に近づけるよう、自己研鑽への決意を新たにすることです。

(いわき市立小川中学校教諭)

教え子に励まされ

鈴木 克哉



ある日の放課後、面会人がいらつしゃつていてというので、急いで玄関に行つた。

私は、その人の顔を見て驚いてしまった。その方は、私が十年近く前に担任していたM子さんのお母さんだったので。

私は、懐かしさとともに、伊達郡にお住まいの方が、どうして双葉郡の学校に尋ねてこられたのか不思議に思つた。

お母さんのお話を聞いているうちに、その理由がわかつた。私が、五・六年と担任したM子さんが念願かなつて、某国立大学の医学部に合格したのだという。その報告と担任への感謝の気持ちを伝えるにわざわざ来られたのだ。入学通知書のコピーを見せなが